



橋下徹  
大阪市長  
42

大阪

# 「朝食抜き・寝不足…プロイラー生活で17キロも激太りしていた！」

「肥満外来」専門医も「危険」警告――

女性自身

7/3号

弁護士時代と比べてみると、明らかに激太りしていた

「最近、以前に比べて体重が7キロも増えてしまって……。ベルトの上にお腹の肉がのつからなくて恥ずかしいんですよ」

6月10日、「大阪維新の会」市議の後援会総会でこう語り、会場の笑いを誘った橋下徹大

阪市長（42）。だが、周囲か

新の会の代表も務めています

市長、くれぐれもご注意を。

市長選に出たころは、頬も膨らみ、お腹にもたっぷり肉が付いていた。府知事時代に10年12月の市長就任から半年の間の話でしょう。ここ最近、明らかに顔がパンパンになりました

あごも二重あごになりましたからね」（市政担当記者）

だとすれば、府知事になつてからの4年半で17キロも激太りしたことになる。いつたことはほとんどないようですよ」

（後援会スタッフ）

さらに、深夜4時頃まで仕事の指示メールを出すなど、

市役所周辺でデモが多発するなど、苦境に立たされていました。それも大きなストレスになつているようです

稼働を実事上容認する発言をしたことで、支持率が激減。

かくして、運動不足や朝食抜きの外食生活。そして慢性的な寝不足……。そんなん不摂生な生活について、肥満外来を設けている「松本クリニック」の松本浩彦院長はこう語る。

「鶴のプロイラーと同じような環境ですね。プロイラーは、3ヶ月で急激に太らせて出荷するために、箱の中で動けないほど押し込め、高カロリーな餌をたらふく食べさせる。そして24時間電灯をつけて眠らせないようにします。睡眠中は食事をしないですし、意外と基礎代謝によるカロリー消費している。だから、睡眠時間を削ると太るんです。そして、そうした無理な生活は、体に支障を来す可能性が高いです」

同じく肥満外来を設けている「岡島内科クリニック」の岡島裕院長も警鐘を鳴らす。「市長の生活を聞いて、米国のクリントン元大統領を思い出しました。彼は忙しいからという理由でハンバーガーを食べ続け、心筋梗塞で倒れ大きな手術を経験しています。一般的に、急激に太ると糖尿病になりやすく、脳卒中や狭心症、心筋梗塞を発症するリスクが跳ね上がりります。当然、寿命も短くなる可能性が高くなるでしょう」